



# 国際化の最前線から 国際化の最前線から



## 学びの定着を目指した通訳研修の展開

### 活動内容

病院で患者さんから「実は母国から取り寄せた薬を飲んでいる。でもお医者さんには黙っていてね」と言われたけれど、どう対処したらいいのか。「タイマン」「パリリ」といった生徒の若者言葉をどう訳していいのかわからない。

こんな事例を取り上げながら、研修を通じて医療通訳、学校通訳、行政機関での通訳にかかわる方々の支援をしている。具体的には、Zoomによる研修講座の実施、講師の派遣などがメインの活動である。

研修は一過性のものではなく「学びの定着」を目指している。ボランティアであっても通訳利用者の命と健康、生き方に関わる業務であり、知識・技術・倫理がしっかり身につけていることが求められるからである。

### 研修の特徴

学びの定着を目指す研修には3つの要素が欠かせない。適正な教科書の使用、経験豊富な講師の確保、適正な学習プログラムの設定である。つまり学校教育で言う「検定教科書」・「教員」・「学習指導要領」に相当する。

特に教科書にはこだわりを持っている。学びの定着には当日の研修だけではなく自宅などでの繰り返し学習が不可欠となる。教科書はそれを可能にする効果的・



研修で使用する教科書。これがあれば自宅で繰り返し学習が可能

(一社)日本公共通訳支援協会 代表理事 西村 明夫

効率的なツールである。そのため、当協会の医療通訳研修では『医療通訳学習テキスト』と『医療通訳学習ハンドブック』、学校通訳研修では『学校通訳学習テキスト』の用意を各受講者をお願いしている。

### 新たな事業

2023年度から多文化共生の基礎的かつ全般的な知識(海外の移民事情、在日コリアンやインドシナ難民の歴史、在留資格などの法制度、自治体の取組事例など)を学ぶ研修を実施している。現場活動家や在住外国人の声を聞く研修は各地域でいろいろ開催されているが、基礎知識を浅く広く学ぶものは見当たらないため、試みに始めてみたところである。

2024年度も4月～5月に3日間開催(詳細は当協会ホームページを)。新たに多文化共生業務に従事する方々にはぜひ受講をおすすめしたいところである。



久々の対面講義：荒川区役所にて

### プロフィール

西村 明夫 (にしむら あきお)  
神奈川県庁国際課勤務時にMICかながわなどと協働で医療通訳派遣システムを構築、自治体国際化協会勤務時に多言語情報作成マニュアルや医療通訳ボランティア研修プログラムの開発に従事。移民政策学会理事